

事業番号	15 09 01	事業改善シート (30年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学校の保健・安全に係る指導充実事業		部局 教育委員会事務局 課・室 保健厚生課 実施期間 H24 ~ E-mail <a href="mailto:hokenko@pref.nagano.lg.jp">hokenko@pref.nagano.lg.jp</a>
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)			
8つの重点目標			
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造力を育む教育の推進	4-1 県土の強靱化	

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○性情報の氾濫など社会環境が大きく変化してきており、自らが性に関して適切に理解し行動がとれる児童生徒の育成が必要なため、「性に関する指導の手引き」などの教材の提供や指導法の習得等のための研修会を実施している。「子どもを性被害から守るための条例」に性教育の充実が明記されたことを踏まえ、指導力向上のための研修等の一層の充実を図っている。 ○東日本大震災の教訓を踏まえ、実践的な安全教育、防災マニュアルの整備等を推進してきた。学校管理下で発生する事故は減少傾向にあるものの、引き続き児童生徒等の安全を十分に確保するため、地域の特性に応じた学校安全推進体制の構築が求められている。 ○危険ドラッグ等、根絶すべき薬物が多様化しているが、学校における薬物乱用防止教室の開催が十分でないことから、指導者を養成し、学校での薬物乱用防止教室の開催を支援する必要がある。				30年度 決算額	4,637 千円							
					職員数	2.60 人							
目指す姿	児童生徒が性や防災・学校安全に関し、正しい知識を習得するとともに自らの判断により自己や他者を尊重し、健康で安全な生活を送るための資質・能力を養うため、指導する教員の指導力向上・環境整備を図る。 (主な実施内容:性に関する指導研修会の開催、学校防災アドバイザーの派遣、薬物乱用防止教室指導者養成講習会の開催など)												
事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	令和元年度	指標及びその達成状況								
	予算額	前年度繰越				No	成果指標	29年度	30年度				
		当初予算	11,032	8,192	6,807				目標値	成果	達成状況		
		補正予算						①	性に関する指導研修会参加校の割合	82.0%	100%	83.1%	未達成
		合計(A)	11,032	8,192	6,807					②	危機管理マニュアルの見直しを行った学校の割合	99.8%	100%
	Aの 財源	一般財源	2,208	2,113	2,139	③	薬物乱用防止教室を開催した県立高校の割合	86.4%	100%	87.7%	未達成		
		県債											
		国庫支出金	8,819	6,075	4,664								
		その他	5	4	4								
	決算額(B)	7,430	4,637										
概算 人件 費	職員数(人)	2.6	2.6	2.6	成果指標 設定理由 ①広く全ての学校に温度差なく研修内容が伝わることを必要のため設定 ②学校安全の組織的取り組みと外部専門家の活用を推進するため設定 ③高等学校では毎年1回は薬物乱用防止教室を開催する必要があるため設定								
	概算人件費(C)	21,065	21,367	21,367									
	概算事業費(B(A)+C)	28,495	26,004	28,174									
備考													
目標に対する 成果の状況	①地域別の研修会開催を倍増させたことで参加校割合は増えたものの、学校行事のため都合がつけられず参加できない学校があるなどしたため、微増にとどまった。 ②毎年必ず見直すよう継続して指導し全校で実施したため、目標を達成した。 ③実施率は上昇しているものの、微増にとどまった。												

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業を どのようにし ていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	①あらゆる教員の参加を求めているが、学級担任等の参加が少ない(養護教諭が多い)。 ②特になし。 ③学校保健計画に記載されていない学校がある。	①あらゆる教員が性に関する指導力を向上させるため、学校等への外部講師派遣を拡充する。 ②③は研修会での指導等を継続し、各学校の取組を求める。特に③は学校保健計画に記載されているかなど、未実施校に直接働きかける。

### 3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	30年度 実施内容(実績)	職員数 (人)	平成30年度		令和元年度 (当初)
					(当初)	(決算)	
1		性に関する指導充実事業	性に関する指導研修会(全県的な専門研修・地域ごとの実践研修)の開催、教員向け研修への専門家派遣、指導者養成のため全国研修会への派遣、ホームページを活用した資料の提供等	1.50	2,520	1,687	2,547
2		学校安全総合支援事業	学校防災アドバイザーの派遣、モデル授業の実施等	0.40	4,711	2,680	3,541
3		学校安全指導力向上事業	学校における防犯等生活安全、交通安全、災害安全の充実を図るための研修会の開催	0.40	717	270	719
4		薬物乱用防止教育推進事業	学校で薬物乱用防止教室を開催する指導者養成のための講習会の開催(他事業に組み入れて実施)	0.30	244	0	0
5							
合計				2.60	8,192	4,637	6,807

事業改善シート附表

□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業番号	事業名	学校の保健・安全に係る指導充実事業				部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課			
15 09 01												
細事業 No	細事業名	項目	実施 方法	30年度 実施内容（予定）	30年度 実施内容（実績）	30年度 実施 状況	29年度		30年度			
							当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	
1	性に関する指導充実事業	性に関する指導者研修等指導者の養成	直接	○全県教職員を対象に基本的方法を踏まえた専門的な指導方法の研修会開催（1回） ○教育事務所単位とする教職員を対象に、実践的な指導法に関する研修会開催（8回） ○学校等への職員研修へ外部講師を派遣（15回） ○ホームページ等を活用した性に関する指導に有効な資料等の提供 ○文部科学省やNPO等が主催する全国研修会への教職員の派遣	○全県教職員を対象に基本的方法を踏まえた専門的な指導方法の研修会開催（1回） ○地域別（教育事務所単位）に、喫緊の課題を扱う教職員向け実践的な指導法研修会を開催（8回） ○教育課程研究協議会や学校が行う職員研修へ外部講師を派遣（15か所） ○ホームページ等を活用した性に関する指導に有効な資料等の提供（随時更新） ○文部科学省研修へ教職員を派遣 ○性教育関係団体が全国を対象に開催する研修会への教職員の派遣（東京等4会場へ7名派遣）	計画通り ○	2,616	2,520	2,520		1,687	
2	学校安全総合支援事業	学校防災アドバイザーの派遣	直接	○アドバイザーを委嘱し、事業実施学校へ派遣をして、専門的な見地から指導助言等の支援を実施 ○学校安全点検ガイドリーフレットの作成	○アドバイザーを委嘱し、事業実施学校へ派遣をして、専門的な見地から指導助言等の支援を実施（29校に派遣） ○学校安全点検ガイドリーフレットの作成	計画通り ○		4,711	4,711		2,680	
3	学校安全指導力向上事業	学校安全関係講習会の開催	直接	○防犯教室講習会、防災教室講習会、交通安全教室講習会、心肺蘇生実技講習会、事故対応講習会の開催による指導者の養成	○防犯教育研修会（1回）、防災教育研修会（1回）、交通安全教育研修会（1回）、心肺蘇生実技講習会（7回）、学校事故対応講習会（1回）の開催による指導者の養成	計画通り ○	702	717	717		270	
4	薬物乱用防止教育推進事業	薬物乱用防止教育指導者養成講習会の開催	直接	○学校における薬物乱用防止教室の指導者を養成	○学校における薬物乱用防止教室の指導者を養成するための講習会を開催（1回）	計画通り ○	244	244	244		0	
合 計								3,562	8,192	8,192	0	4,637